横浜市立 中沢小学校　　元 年度版　中期学校経営方針　（　0 元 ～ 3 年度 ）

学校教育目標	自主・創造・共生 〇自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】 〇お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】 〇たくましい心と健やかな体を育てます【体】 〇社会とのかかわりを大切にし、共に生きる態度を育てます【公】 〇さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】

学校概要	創立　49　周年	学校長　　小倉　克彦	副校長　　柴田　耕治	2　学期制	一般学級：21　　個別支援学級：4	
	児童生徒数：　729　　人	主な関係校：　旭中学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力
・自ら学び、自ら考え、行動する力 ・他を認め、協働して課題解決をする力 ・変化に対応し、創造する力

中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
旭中学校 中沢小学校	自ら学び、自ら考え、共に認め合い、協働して課題解決を進める子ども ・主体的・対話的で深い学び、ユニバーサルデザインの授業を中心とした「共通授業コンセプト」の理念を実現するため、小中合同授業研究会を充実させる。 ・9年間で一貫した「児童生徒指導スタンダード」の定着を図るため、小中合同研修会を充実させる。

中期取組目標	〇1小1中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。 ・特別支援の考え方をもとに、授業のユニバーサルデザイン化を図ります。 ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。 ・地域と連携・協働しながら、社会で求められる資質・能力を子どもたちに育みます。

重点取組分野		具体的取組
生きてはたらく知	担当　重点研究	①どの子も安心して参加できる、わかる授業づくりをめざし授業研究、授業実践をすすめる。 ②授業の中にグループ活動を取り入れ、子どもが主体的、対話的に学習をすすめられるようにする。 ③地域の「人、もの、こと」にかかわる学習を位置づけ、体験的に学ぶ機会を全学年に位置付ける。
豊かな心	担当　縦割り、特活	①小中合同の行事等を工夫し、児童生徒が年間を通して自分の役割を意識し、直接かかわる機会をもつ。 ②縦割り活動、行事等では、育てたい力、子どもに経験させたいことを明確にし、仲間に支えられ、仲間を支えながら、ともに達成する充実感を味わえるようにする。
健やかな体	担当　体育・保健	① 体力テスト等を通して、今の自分の記録を知らせるとともに、有効な運動を指導する。 ②学級タイムや時間が長くなった中休みなどを利用して、クラスのみんなで楽しく体を動かす取組をする。 ③学校保健委員会を中心に「よい姿勢」について学び、実践する。
特別支援教育教育	担当　幼保小・特別支援	①S・カリキュラムや授業研究などを通して適切に子どもを理解し、特性に合う指導を組織的にすすめる。 ②子ども理解・指導を見出す際には専門家や専門機関と適切に連携し、組織的に情報を共有する。 ③個別級と一般級児童の交流等を計画的にすすめ、児童理解・指導力・子どもたちの相互理解を
地域連携・学校運営協議会	担当　教務・生活・総合	①地域の「人、もの、こと」にかかわる学習を総合的な学習の時間、生活科等に位置付ける。 ②小中が協働し地域防災拠点訓練などの地域行事に参画する。 ③地域行事への参加、地域にかかわる教育活動等を通して学校の教育方針やその成果を発信する。
キャリア教育	担当　生活・総合・小中一貫	①地域にかかわる活動を通して社会と自分のつながりを意識する学習を各学年に位置付ける。 ②小中合同の活動、縦割り活動、学校行事等で自分の立場や役割を意識したり、めあてにむけて協力したりする活動を意図的・計画的に位置づける。
いじめへの対応	担当　児童指導	①人とかかわる活動、どの子も参加する学び合いなどを通してあたたかな学校風土、学級風土を醸成する。 ②Y-Pアセスメント、授業研究会等を通して、児童理解・集団理解や特性に合う指導を組織的に構築する。
人材育成・組織運営（働き方改革）	担当　教務・主幹	①ABCD部会の運用を通して、教育課題を組織的に組織的に解決する。 ②授業研究会を通して、組織力向上、個々の児童理解力、指導力を向上。 ③メンター研修を通して、メンター個々が自己の課題を明確にする、見通しをもって自己の力を向上させる経験をする。